

MULTIPLEX

FUNMAN ファンマン 組立て補助説明書

※当説明書はキットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P18～33)が英語表記です。イラストは、(P22～28)です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると本人、及び他人に危害を及ぼす可能性がある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入し、万一の事故に備えてください。



警告 注意 安全のための確認

- 1)本機体は安定性の高い機体ですが、全くの初心者の方の単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに機体の点検と飛行練習を受けてください。
- 2)各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3)動力用のバッテリーを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にし、スロットルスティックが OFF 状態にある事を確認してから機体の動力用バッテリーを接続してください。
上記の手順を守らなかった場合、バッテリー接続と同時にモーターが回転してしまい危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取り扱いも熟知しておいてください。
- 4)機体を持つ時は受信機スイッチの ON-OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
突然のプロペラの回転に注意してください。
- 5)機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6)飛行後のモーターは高温になります。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとパワーが低下したりモーターの寿命が短くなります。
モーターの温度を確認する際は火傷に注意してください。
- 7)当製品の性格上、フライトにおける損失・事故等には一切保障を致しかねます。
- 8)当製品は製品の性質上、飛行後における初期不良はお受けすることができません。

●キット内容物のチェック

各国語版説明書の英語(GB)部分 P32のパーツリストに沿って欠品がないかご確認ください。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡下さい。

・スペアパーツにつきましてはP29をご覧ください。

●推奨搭載メカなど

- ・送信機: Aurora9、または 4ch以上の送受信機
- ・受信機: Hitec OPTIMA 7 重量 17g
Hitec OPTIMA 9 重量 22g

●サーボ: エレベーターとラダーのみに専用サーボを搭載済み

・**図 1,2** (Abb,1,2)

全体の構成パーツです。
欠品しているものがないか確認してください。

・(Abb.19~21) プロペラの取り付け

プロペラはアッセンブリーとしてスピナーベースに取り付けてありますのでモーターに取り付ける場合は先端のスピナーを左に回し緩めた後、スピナーベースをモーターに取り付け最後にスピナーを右に回しプロペラをしっかりと取り付けてください。

注意 スピナーの先端に穴があいていますのでこちらに細いドライバーなどを差し込み回して固定してください。

(Abb.28) 水平尾翼の取り付け

瞬間接着剤と硬化促進剤を用い水平尾翼を取り付けてください。
まず接着剤をつけないで借り組みし、水平を確認した後に接着してください。
(Abb.30の画像のように水平尾翼と垂直尾翼が正確に90度になるようにしっかりと取り付けてください。

(Abb.31~32) 各リンケージの組み立て

ラダー及びエレベーターのリンケージを組み立ててください。
ホーンなどは取り付けられていますので画像を参考に各リンケージを回転軸受けの穴に差し込んでください。
同時に各舵のニュートラルを調整してください。

(Abb.34) ランディングホイールの取り付け

組み立て済みランディングホイールを(Abb.34)の画像を参考に胴体取り付け部に差し込み
M3 × 12mmのビスでしっかりと固定してください

オプションのフロートを使用する場合はホイールを取り付ける場所にフロートを取り付けてください。

(Abb.40) 主翼の取り付け

(Abb.40)の画像を参考にいただき32のボルトを使用していただき主翼を取り付けてください。

・受信機メカの搭載

(Abb. 23) の画像を参考にいただきキャビンを取り外してください。
推奨の受信機を搭載していただき各サーボの配線を行ってください。

注意

- ・サーボ接続の際は接続するCHとプラス、マイナスにご注意ください。
(サーボコードの茶色がー赤が+オレンジが信号線となります。)
- ・ESCを接続しモーターの動作を確認する際は安全のためプロペラを外してください。
- ・仮にESCが最スローを認識せずにモーターが回らない場合は送信機のTHRのEPAを調整し上下の幅を大きくしてください。

・Abb43 重心位置

重心位置は主翼付け根で前縁から67mmに合わせてください。
バッテリー等を移動して合わせてください。

エルロン、エレベーター、ラダーの動作量です。

(オプション)エルロン	上7mm、下3mm
エレベーター	上11mm 下11mm
ラダー	左右 6~10mm

こちらの数値は各舵のおおよその最大動作量を示します。

送信機のEPA機能で正しく設定してください。

EPA機能でうまく調整できない場合は各リンケージを機械的に調整してください。

重心位置は主翼の前縁から67mmです。印を主翼につけてフライト前に確認してください。

● オプションパーツの組み立て

・エルロンの組み立て方法

1 (Abb.36)をご覧くださいエルロンの両端をカットしてください。

このときカットした両端をヤスリ掛けしエルロンがスムーズに動作するよう注意してください。

2 (Abb.37)をご覧ください、ホットメルトボンドや瞬間接着剤を用いサーボを固定してください。

注意

弊社推奨サーボはHS-55になります。

サーボから受信機まではおおよそ120mmのコードが必要になりますので必要に応じ延長コードをご使用ください。

エルロンを使用するためには(エルロンアップグレードセット 品番 65164)とサーボが2個必要です。

3 (Abb.38)をご覧ください、主翼にエルロンホーンを接着してください。

4 (Abb. 39)をご覧ください、エルロンの動作角とニュートラルに注意しリンケージロッドを取り付けてください。

・オプション フロートラダーとテールホイールの組み立て

注意 テールホイールを使用する場合は品番 733199 が必要です。

フロートラダーは品番 733069のフロートセットに付属しております。

- 1 (Abb10~12)をご覧いただきコントロールロッドを取り付ける穴とロッド先端をラダー動翼にはめる為の溝をカッターナイフなどを用い作ってください。コントロールロッドが丁度ラダーヒンジの溝にフィットするように穴をあけてください。ホイールのコントロールロッドは曲げる前にスリーブに差し込みスリーブを胴体の穴に入れ接着した後、画像を参考に曲げてください。
- 2 (Abb13)をご覧いただきロッドを曲げフロートラダーを作成してください取り付けは上記のテールホイールと同様に行ってください。

販売元: **株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン**

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 1-30-10 1F

電話: 050-5519-4989

受付時間: 月曜日~金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30~12:30、13:30~16:30

お問い合わせフォーム: <http://hitecrd.co.jp/mailform/>

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。